

「ゆめの実現」

「とうとうやったプロゴルファーへ夢の実現」

近藤年弘さん（1980年 経済学部 経済学科卒）

「この度は、プロテスト合格おめでとうございます。合格を決めた瞬間のお気持ちはいかがでしたか。」

「当時は比較的落ち着いてプレーができていたのではないかと思います。最終ホールでのティンクを終えた瞬間に家族の顔が頭の中を通り抜けていました。」

「周回の「おめでとう」の声にも気が抜けてしまったような感じだったのですが、家族に電話で報告した際、女房の泣き声を聞いたところで、ぐっと込みあげてきましたね。」

「プロゴルファーになろうと思ったのはいつ頃からでしょうか。また、その動機はどのようなものでしたか。」

「クラブを初めて極めたのは、小学生のときでしたね。叔母が女子プロゴルファーでしたので、その叔母にレッスンを受けていました。また、地元近くのコースで、中日クラウンズや「東海クラシック」などのビラクタイトルを間近に見ていましたので、本物のプロのプレーには少年時代から心が躍らされていましたね。その時の強いイメージがプロへの道を駆り立てたのでしょうか。」

「言葉では難儀何年と言いますが、この世界では、失礼ながら長年に渡ってチャレンジし続ける「ゴルフ」はいつ止まるのでしょうか。」

「今回の合格者のなかでは、私が最年長17回目の挑戦での合格ということになりましたが、プロテストを受けている人の中では20回以上という方もいらっしゃいますね。苦労したというよりは、やはりゴルフが好きで、続けてきたという感じでしょうか。」

「とうとう28才の時でしょうか。たまたま30回のバーパットをはずしたことから、パニックに陥り、結果不合格となってしまったことが忘れられない記憶として残っています。でもその経験が、プロへの強い思いを支えてきたのかも知れません。」

「このように頑張ってきた近藤さんを支えてきた生き方を教えていただけませんか。」

「自分の人生は、他の誰でもない自分自身のものだから、後悔だけはしないよう、木当になりたい自分をめざして努力は惜しまないように、とは思っていましたね。」



こんどうとしひろ

●プロフィール

入学と同時にゴルフ部に入学し、ゴルフ部の専従つくり賞。1999年プロゴルフテスト合格。
現在、苦学をかいた妻さんと2人の子どもに恵まれて名古屋市天白区に在住。

「大学時代の思い出として、印象的なことはどのようなことでしょうか。またクラブ活動などの学生生活で、近藤さんの現在に何かを与えているようなことはありますか。」

「大学での生活もやはりゴルフ中心でしたね。入学してすぐに新人歓迎合宿があったのですが、これがたいへん厳しさと入学前から聞いていたもので、合宿前に自主トレーニングを積んでから臨んだのですが、役に立たないほどの厳しさでしたね。夜逃げする者もいて、結局私の同期は4人しか残っていませんでした。さすがに私たちが上級生にならなから、少し緩やかにならなから、ではないかと思えます。」

「しかし、その甲斐があつて、入学した時点で2部リーグ上位だったのが、私たちの入学後早い時点で1部へ昇格することができました。野球部の優勝の影に隠れてしまいましたが全国で4位になるという成果をあげた年もありました。」

「社会人として、また同窓生として、近藤さんが本学に期待すること、理想とする大学像などありましたら、お聞かせください。」

「私の大学生活はゴルフを抜きには語れないものでした。それでもきちんと大学を卒業することができたのは、良くも悪くも当時の大学には学生に対する包容力があつたからではないかという気がします。」

「今の時代にそれをそのまま当てはめることは難しいことだと思います。しかしながら、個々の学生の小さな可能性の芽を決して摘み取らず、できる限り長所を伸ばしてあげられるような環境作りをしてあげてほしいですね。」

「プロとして、これから厳しい努力が必要とされると思いますが、何を目標に進まれるのでしょうか。」

「やはり、プロになつた以上、トーナメントプレーヤーとして試合に出場していきたいですね。できれば、国内だけでなく、アジアで開催されるツアーなどにも積極的に参加していきたいと考えています。」

「本日はありがとうございました。今後の活躍を楽しみにしています。」

（1999年 54号より抜粋）



★皆様のお知り合いの同窓生の中で、こんな方を同窓会会報に紹介したいという方がいらしたら、是非事務局までご連絡下さい。

優秀成績クラブ 同窓会より表彰

学生支援の二環として、大学同窓会ホームカミングデーにおいて優秀クラブの表彰を行っています。昨年は同窓会記念事業のため延期されていましたが、この程、左記のクラブを1998年度優秀クラブとして表彰しました。占部会長から各クラブの主将に目録を授けました。

表彰クラブ

アーチェリー部	ソフトテニス部
ゴルフ部	ハンドボール部
水泳部	馬術部
スキー部	ラグビー部

なお、表彰状のほか同窓会支援金としてスキー部に100,000円、ほか7クラブに50,000円が授与されました。